

司会者と発表者4名全員が登壇し椅子に座り、司会の進行で各事項、各担当がまとめた説明内容を、パワーポイント(P.P.)を使い、時に動作を加えながら説明。

## 0. はじめの言葉 司会：今井里於恵：

P.P.1：中部ブロックの活動発表を行います。

過去の活動を振り返り、中部ブロックでここ10年間継続している事業である「昔遊び」を紹介いたします。昔、私たちが子供だった頃の「昔遊び」の伝承と交流の取組を報告いたします。

P.P.2：報告につきましては、1. 動機 事業内容 2. 実施紹介(昔遊びの紹介) 3. 現場の声(頂いた評価の紹介) 4. まとめ(総括) を子供たちと一緒に遊んだ経験者から順次報告致します。

## 1. 動機(始まり) 事業内容(目的、目標)からお願いします。

説明者：小川利克 説明用原稿は無し。

P.P.3で「昔遊び」を高根小学校、高根公民館と中部ブロックが一体となって始める経緯について説明。

P.P.4で内容を公民館事業実施計画に基づきテーマと目的から説明し、関連する小学校指導要領にも触れる。

## 2. 実施紹介(昔遊びの紹介)をいたします。コロナ禍での活動も入っています。

説明者：中原久直 説明原稿 添付 2. 実施紹介(昔遊びの紹介)

P.P.5で当日の様子を紹介し、6種の昔遊びを教えたことを順に説明。この時、説明している遊びの担当名人は遊具で当日の様子的一端を動作で皆さんにお伝えする。

P.P.6で当日の会場の様子を映し、最後に客席に向かって用意してきた折り紙を飛ばす。

## 3. 現場の声(頂いた評価の紹介)、学校・公民館・子どもたちからの順でお話します。

説明者：清水頭幸雄氏が当日所用で急遽欠席のため中原久直が代行。

説明原稿 添付 3. 現場の声(頂いた評価の紹介)

P.P.7で高根小学校校長先生、高根公民館館長から頂いたお礼のお言葉、P.P.映像では要点になっておりますが、口頭説明では全文をご紹介します、子供たちからの反応を、今年の折り紙飛行機のお届けに対するものも含めて紹介する。

## 4. まとめ(総括)をお願いいたします。

説明者：馬場悦子 説明原稿 添付 4. まとめ(総括)

P.P.8での説明に従いパワーポイント画面の当該部を順次映し出しながら、「遊び」は「学び」、学校、公民館、コー連協がタックを組み地域に根差した活動をすることが地域社会の基礎であること、私たちにとっても生涯学習の一環であること、今後も続けていきたいそしてこの活動が広がることを願っている事を述べる。

## 5. (おわりの言葉として) この昔遊びの他にも中部ブロックでは他の公民館で、工作や凧作りなどを毎年親子参加で行っていてとても好評を頂いています。(自分で作った凧は校庭で凧あげをして楽しめます。)

これからも、子供たちの遊びの中から生まれる経験や挑戦が、友達同士で共有できる達成感と喜びに繋がるよう、昔遊びを公民館と連携しながら一つと続けていきたいと思っています。

これで中部ブロックの活動報告をおわります。有難うございました。

## 2. 実施紹介（昔遊びの紹介）

11.13 中原 久直

P.P.5 を映し、説明者の各遊び紹介に合わせて各名人（or 児童のつもり）が席を立ち、遊び道具を持って動作等をし、お見せする。

1. 当日のプログラムは校長室から1年生に手を引かれ講堂へ。ご挨拶をし、1, 2年生を一緒にして6グループに分け、6種類の昔遊びを前半は順繰りに全部体験して、後半は自分の好きな遊びの所に行きます。終わるとお礼の言葉をもらい、また1年生に手を引かれて校長室に帰ります。  
それでは昔遊び6種類を順にご紹介いたします。
2. 折り紙：大きな紙で折った鶴や風船等をお見せする。（馬場）  
折り紙の名人は、教えるに当たり、改めて折り紙教室に行き勉強し直し、折るものも、代表的な鶴だけではなく、折った後遊べる風船も加え、折る楽しさとそれで遊ぶ楽しさも伝えることにしました。  
一番下の大きな鶴は2年生の男の子が折りました。
3. お手玉：なにか歌いながら？お手玉をする。（今井）  
お手玉の名人は、子供達には初めてやる短い時間では手になじまず上手くは出来ませんが、これをきっかけに二人で遣り取りをしたり、片手二つ玉等、奥深い楽しみを知ってもらえたらと思いながら遊びました。
4. 独楽回し：床に向かって回す。（小川）  
コマ回しの名人は改めてコマやベーゴマの回し方をネットで調べ、教えるポイントを学び、そして練習しました。子供達は真剣でしたが、初めてやるので、ひもの巻き方から難しいようでした。しかしそれが出来ると次に投げて回す大きな楽しみが待っています。
5. けん玉：けん玉をする。（今井）  
けん玉の名人は今年転勤してしまった若い公民館員がやりました。今日は子供役がお見せします  
ところで今年のけん玉世界チャンピオンはこれまでの最年少、船橋の塚田小6年の千葉君でした。さらに塚田小の校長先生は、前この高根小学校で昔遊びをご一緒させて頂いた黒川校長先生です。
6. メンコ：メンコをはたきつける真似をする。（清水頭、当日代役中原）  
メンコの名人は、おこしからさばおりなどを昔取った杵柄で模範演技をしました。それを見習い子供達は夢中になり、はたきつけました。しかし簡単にはおこせません。はたく位置や、加減をいろいろ工夫しながら繰り返しました。
7. 紙飛行機：  
紙飛行機の名人は、折る順序の図を大きな紙に書いて持って行きました。折り紙をひっくり返して折るところは敢えて教えませんでした。子供達は皆そこでひっかかります。しかし図からひっくり返すことが判ったときは本当に嬉しそうでした。折るのがうまい子、飛ばすのがうまい子、人に教えるのがうまい子、最後まで頑張る子いろいろです。

P.P.6 を映し、これは当日の講堂での様子です。

最後に皆で、飛行機を客席に向かって飛ばす。サー、飛ばそう！ Two One Zero 発射。 以上

### 3. 現場の声（頂いた評価の紹介）

11.13 清水頭 幸雄（当日代役中原久直）

P.P.7 を映し、以下を順に説明。

1. この昔遊びについて頂いた評価・お礼等をご紹介します。

2. 高根小学校の校長先生からは

「この度は活動20周年おめでとうございます。今までのご功績に敬意を表すとともに、今後の更なるご繁栄を心よりお祈りいたします。これからも地域と学校がスクラムを組んで、高根の子供たちを育てていけたら幸いです。」というお手紙を頂きました。

3. 高根公民館長からは

「この度は船橋市生涯学習コーディネーター連絡協議会設立20周年おめでとうございます。

高根公民館とコー連協中部ブロックとの関わりは平成24年2月の昔遊び体験交流から始まり10年になります。本事業が長期に渡り継続しているのは、ひとえにコーディネーター皆様お一人お一人のご尽力の賜物です。今後も子どもたちの情操教育支援に寄与できる活動に取り組みたいと思いますので、引き続きのご協力の程、よろしくお願い申し上げます。」

公民館は若い館員がけん玉の名人をしたり、今回のこの発表に当たっても、全面的支援をして頂きました。

4. そして子供達の反応、これが私たちの大きな喜びですが、各名人に素敵なハート形ペンダントとメダルを頂き、さらに一人一人がお礼のお手紙を書いてくれました。

例えば2年生の女子からは

「メンコの名人さん、私は、1年生の時、メンコをやって、2年生でちょっとやり方を忘れてしまいました。でも、メンコの名人さんが、やさしく教えてくれたので、やり方を思い出しました。本当に、ありがとうございます。」

この他にも「お手玉がチョット上手になりました。どんどんできるようにします。」や、さらに「薄い紙の飛行機は飛びません。」という大学の論文テーマにもなるような気づきをした子もいました。

5. 今年はコロナ禍で中止でしたが、紙飛行機約20機種、100機程折って学校に届けました。子供達は講堂で飛ばし、家に持ち帰りました。

そのお礼、「スカイスクレーパーが最初は難しかったけど、コツを掴んだらすごく高く飛びました。楽しかったです。」一何度の何度も飛ばしたのですね。

この他それぞれ遊びの神髄に触れたお礼が一杯で、名人冥利につきるものばかりでした。

以下は当日時間が無く割愛。

今年の現代の名工150人に選ばれた宝飾品加工 三塚晴司さんは学校でものづくり教室も長年やってきており「糸ノコギリで鉄板が切れた瞬間、子どもたちが見せるうれしそうな顔がたまらない。」とっています。我々「名人」に同じ思いです。

出展 11/6（土）朝日朝刊 P33 現代の名工150人 緻密な子供心忘れずに 宝飾品加工 三塚晴司さん

## 4. まとめ（総括）

11.13 馬場 悦子

P.P.8 を映し、以下を順に画面に該当映像を映しながら説明。

### P.P.8 の「遊び」は「学び」要素開始

「子どもの遊び」は、子どもの発達に大きく寄与することは言うまでもなく、ゲーム遊びが蔓延している昨今、集団で遊ぶこと、手足や五感を使って遊ぶことの意味が大きくクローズアップされています。子どもは遊びを通して、創意工夫する力や想像力が育ちます。そして、一人では築けないコミュニケーション能力も育成できます。まさに「**遊び**」は「**学び**」なのです。

### P.P.8 の 地域社会の連携 要素開始

本事例の高根小学校は、周りに農家が点在し、田植え・稲刈りなど、年間を通じて地域に根ざした教育が進められています。その地域性の基盤が、「昔遊び」の活動に有効的であったと考えられます。

公民館、学校、コー連協がタッグを組み、地域に根差した活動から生まれる人と人とのふれあいこそが**地域社会の連携の基礎**ではないでしょうか。

### P.P.8 の 生涯学習の一環 要素開始

子どもだけでなく、この事例は、私たちにとっても意味深いものがあり、子どもとの交流によって、自身の意欲の向上が期待できます。伝承遊びを教えるために、私たち自ら調べたり練習したりして当日に備えます。それは、私たち自身の生活の向上にも繋がっているのです。**生涯学習の一環**といえましょう。子どももさることながら、ニコニコして、一番、昔遊びに興じていたのは、実は、私たちコーディネーターだったかもしれませぬ。

### P.P.8 の 全体

10年前に私たちの先輩が築いてくださった中部ブロックのこの「昔遊び」の事例をこれからも引き継いでいきたいものです

この事例は一つの提案にすぎませんが、他のブロックにおいても、こちら側から積極的に公民館や学校に働きかけ、このような活動が広がることを切に願っております。

以上